

ごあいさつ

学校長 今川 拓

この度は、男鹿工業高等学校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。  
ございます。

本校は、昭和56年（1981年）に地域産業の発展に寄与する技術者の育成を担うべく開校した、創立40年となる工業高校であり、令和3年度の40周年記念事業に向けて準備を始めたところです。卒業生は5,800名を超え、県内はもとより、国内外の産業界の第一線で活躍しています。

現在は、機械科、電気電子科、設備システム科の3学科で構成されており、各学科1クラスずつの計9クラスです。令和2年度は、78名の新入生を迎え、全校生徒が267名となりました。なお、設備工業系の学科である設備システム科は、全国でも開設数が少ない特色ある学科です。

校訓は「創意実践」です。あらゆる「ものづくり」には、豊かな発想とひらめき、そして失敗を恐れぬ行動力が必要です。21世紀を担う若い技術者に必要なものは、社会を生き抜くたくましさの実践力です。この校訓のもと「ものづくりは、ひとづくり」と言われるように、ものづくり教育を通じて、主体的に取り組む態度や創造性、集中力や忍耐力、協調・協働の精神等を身に付けた技術者を育成することを目指しています。

進路指導においては、「進路達成100%」を目指して様々な取組を行っており、本人の希望や適性に応じて、地元企業・全国の一流企業・公務員、大学・短大・各種専門学校まで、多種多様な進路と夢の実現が可能です。

部活動では、全国大会に出場しているラグビー部・空手道部を筆頭に、運動系8と文化系・工業系7の部活動で、日々明るく元気に活動しています。

生徒たちは、とても素直で礼儀正しく、そして自らの夢の実現に向けて、学習や部活動に一生懸命取り組んでいます。このホームページを通して、本校の教育活動をご紹介したいと思いますので、定期的にご覧いただければ幸いです。

これからも様々な教育活動を通じて、地域・保護者・同窓生の皆様のご協力を得ながら、地域社会や産業界に貢献できる人材の育成を目指します。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。